

## BR-210( STANDING WAVE ANALYZER ) ホームページ用説明書-3

### 測定の準備

はじめに本機の動作チェックをします。

付属の標準ダミーロードを測定端子に接続します。

次に電源スイッチを入れます。IMP/ SWR切替スイッチをIMP又はSWRに切り換えて50 及びSWR 1:1を指示することを確認してください。

周波数レンジスイッチとFREQダイヤルを操作して周波数を変化させても、それぞれ50 、SWR 1.1を指示していれば本機は正常に動作しています。

### 注意

付属のダミーロードは、測定用として耐電力500mWです。

他の機器やトランシーバなどの高電力機器に使用すると焼損します。

アンテナ給電点のインピーダンス測定

アンテナ給電点と本機の測定端子を直接又はできるだけ短い同軸ケーブルで接続します。

IMP/ SWR 切替スイッチをIMPにします。

周波数レンジスイッチを選択して、カウンターを見ながらFREQダイヤルで目的の周波数に設定します。

このときメータは、設定した周波数におけるインピーダンスを指示します。

インピーダンスが50 を指示していれば、このアンテナは目的の周波数に共振していることになります。

アンテナの共振周波数測定

前項の要領で測定端子にアンテナを接続し、IMP/ SWR切替スイッチをSWRにします。

適当と思われるレンジに設定し、メータを見ながらFREQダイヤルを回して周波数を変化させていきます。

SWRの指示がSWR= 1:1に最も近い点でカウンターに表示される周波数が共振点です。

アンテナのSWR測定

測定端子にアンテナを接続して、IMP/ SWR切替スイッチをSWRにします。

周波数レンジスイッチでレンジを選択して、カウンターを見ながらFREQダイヤルで目的の周波数に設定します。このときメータは、設定した周波数におけるSWRを指示します。

アンテナ回路全体のSWR測定

実際の無線局運用上では、送信機とアンテナを同軸ケーブルで接続します。

この場合、同軸ケーブルの長さや損失又は周波数の違いなどによってSWRが変化します。

同軸ケーブルの送信機側を本機の測定端子に接続して、IMP/ SWR切替スイッチをSWRにします。

このときメータの指示は、アンテナ系全体のSWRを指示します。

もしSWRが高い場合は、SWR= 1:1に近くなるようにアンテナを調整します。